

教 員 名 簿

学長の氏名等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
-	学長	ミヅガミ タツヤ 溝上 達也 <平成31年1月>		博士 (商学)		松山大学学長 (平成31.1～32.12)

（注） 高等専門学校にあつては校長について記入すること。

教員の氏名等												
(法学研究科法学専攻)												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 単 位 数	当 年 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る 大学等の職 務に従事す る 週当たり平 均 日 数
1	専	教授 (学部長)	クラナワ イクオ 倉澤 生雄 <平成32年4月>		修士 (法学) ※		行政法研究特講 行政法特論特講 課題演習Ⅰ 課題演習Ⅱ 課題演習Ⅲ 課題演習Ⅳ	1前 1後 1前 1後 2前 2後	2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	松山大学法学部 教授 (平成16年4月)	5日
2	専	教授	タカハシ タダシ 高橋 正 <平成32年4月>		法学士		司法制度総論特講※ 訴訟法研究特講 課題演習Ⅰ 課題演習Ⅱ 課題演習Ⅲ 課題演習Ⅳ	1前 2前 1前 1後 2前 2後	0.8 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	弁護士 (平成22年4月) 弁護士 (平成22年4月)	5日 0.5日
3	専	教授	ヤマウチ ススム 山内 進 <平成32年4月>		法学博士		司法制度総論特講※ 比較制度史特論特講 課題演習Ⅰ 課題演習Ⅱ 課題演習Ⅲ 課題演習Ⅳ	1前 2前 1前 1後 2前 2後	0.5 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	一橋大学 名誉教授 (平成26年12月)	5日
4	専	教授	セノオ カウトシ 妹尾 克敏 <平成32年4月>		博士 (法学)		憲法研究特講 憲法特論特講 比較自治制度特論特講 課題演習Ⅰ 課題演習Ⅱ 課題演習Ⅲ 課題演習Ⅳ	1前 1後 2前 1前 1後 2前 2後	2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1	松山大学法学部 教授 (平成2年4月)	5日
5	専	教授	ムラタ タカユキ 村田 毅之 <平成32年4月>		法学修士 ※		労働法研究特講 労働法特論特講 課題演習Ⅰ 課題演習Ⅱ 課題演習Ⅲ 課題演習Ⅳ	1後 2前 1前 1後 2前 2後	2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	松山大学法学部 教授 (平成12年4月)	5日
6	専	教授	セン イエイ 銭 偉栄 <平成32年4月>		修士 (法学) ※		民法特論特講※ 比較法特論特講※ 課題演習Ⅰ 課題演習Ⅱ 課題演習Ⅲ 課題演習Ⅳ	1後 1後 1前 1後 2前 2後	1.1 1 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	松山大学法学部 教授 (平成24年4月)	5日
7	専	教授	オウ ゲンセイ 王 原生 <平成32年4月>		博士 (法学)		企業法研究特講 比較法特論特講※ 課題演習Ⅰ 課題演習Ⅱ 課題演習Ⅲ 課題演習Ⅳ	1後 1後 1前 1後 2前 2後	2 1 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	松山大学法学部 教授 (平成16年4月)	5日

教員の氏名等

(法学研究科法学専攻)

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 単 位 数	当 年 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る 大学等の職 務に従事す る 週当たり平 均 日 数
8	専	教授	ミョウショウ ヒロアキ 明照 博章 <平成32年4月>		博士 (法学)		司法制度総論特講※ 刑法研究特講 課題演習Ⅰ 課題演習Ⅱ 課題演習Ⅲ 課題演習Ⅳ	1前 1前 1前 1後 2前 2後	0.7 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	松山大学法学部 教授 (平成16年4月)	5日
9	専	教授	エンドウ ケスヒロ 遠藤 泰弘 <平成32年4月>		博士 (法学)		人権論総論特講※ 比較制度史研究特講 課題演習Ⅰ 課題演習Ⅱ 課題演習Ⅲ 課題演習Ⅳ	1前 1後 1前 1後 2前 2後	1 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	松山大学法学部 教授 (平成20年4月)	5日
10	専	教授	フルヤ ソウイチ 古屋 壮一 <平成32年4月>		博士 (法学)		民法研究特講 課題演習Ⅰ 課題演習Ⅱ 課題演習Ⅲ 課題演習Ⅳ	1前 1前 1後 2前 2後	2 2 2 2 2	1 1 1 1 1	松山大学法学部 教授 (平成21年4月)	5日
11	専	准教授	イマムラ ノブシ 今村 暢好 <平成32年4月>		修士 (法学) ※		刑法特論特講 課題演習Ⅰ 課題演習Ⅱ 課題演習Ⅲ 課題演習Ⅳ	1後 1前 1後 2前 2後	2 2 2 2 2	1 1 1 1 1	松山大学法学部 准教授 (平成23年4月)	5日
12	専	准教授	マキモト キミアキ 牧本 公明 <平成32年4月>		修士 (法学) ※		人権論総論特講※	1前	1	1	松山大学法学部 准教授 (平成23年4月)	5日
13	専	准教授	ミズノ タカヒロ 水野 貴浩 <平成32年4月>		修士 (法学)		民法特論特講※	1後	0.9	1	松山大学法学部 准教授 (平成18年4月)	5日
14	兼任	講師	ヨシナカ ノブヒト 吉中 信人 <平成32年4月>		修士 (法学)		刑事政策特論特講	2前	2	1	広島大学大学院 社会科学研究所教授 (平成8年4月)	
15	兼任	講師	ミヤシタ ヌウイチロウ 宮下 雄一郎 <平成32年4月>		博士 (法学) Docteur en Histoire de l'IEP de Paris (仏国)		比較制度特論特講	2前	2	1	法政大学 法学部 国際政治 学科 教授 (平成30年4月)	

※研究科長については、本研究科設置認可後、開設までに本研究科専任教員による投票により決定予定

専任教員の年齢構成・学位保有状況										
職 位	学 位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合 計	備 考
教 授	博 士	人	人	2人	2人	人	1人	1人	6人	
	修 士	人	人	人	2人	1人	人	人	3人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	1人	1人	
	短期 大 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	3人	人	人	人	人	3人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期 大 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講 師	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期 大 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助 教	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期 大 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合 計	博 士	人	人	2人	2人	人	1人	1人	6人	
	修 士	人	人	3人	2人	1人	人	人	6人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	1人	1人	
	短期 大 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	

(注)

- 1 この書類は、申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。
- 2 この書類は、専任教員についてのみ、作成すること。
- 3 この書類は、申請又は届出に係る学部等の開設後、当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度（以下「完成年度」という。）における状況を記載すること。
- 4 専門職大学院の課程を修了した者に対し授与された学位については、「その他」の欄にその数を記載し、「備考」の欄に、具体的な学位名称を付記すること。